



株式会社シー・エス・ランバー

東京証券取引所スタンダード
証券コード 7808

2023年5月期第2四半期決算説明会


2023年1月25日開催



※写真は2022年に建築した保育園

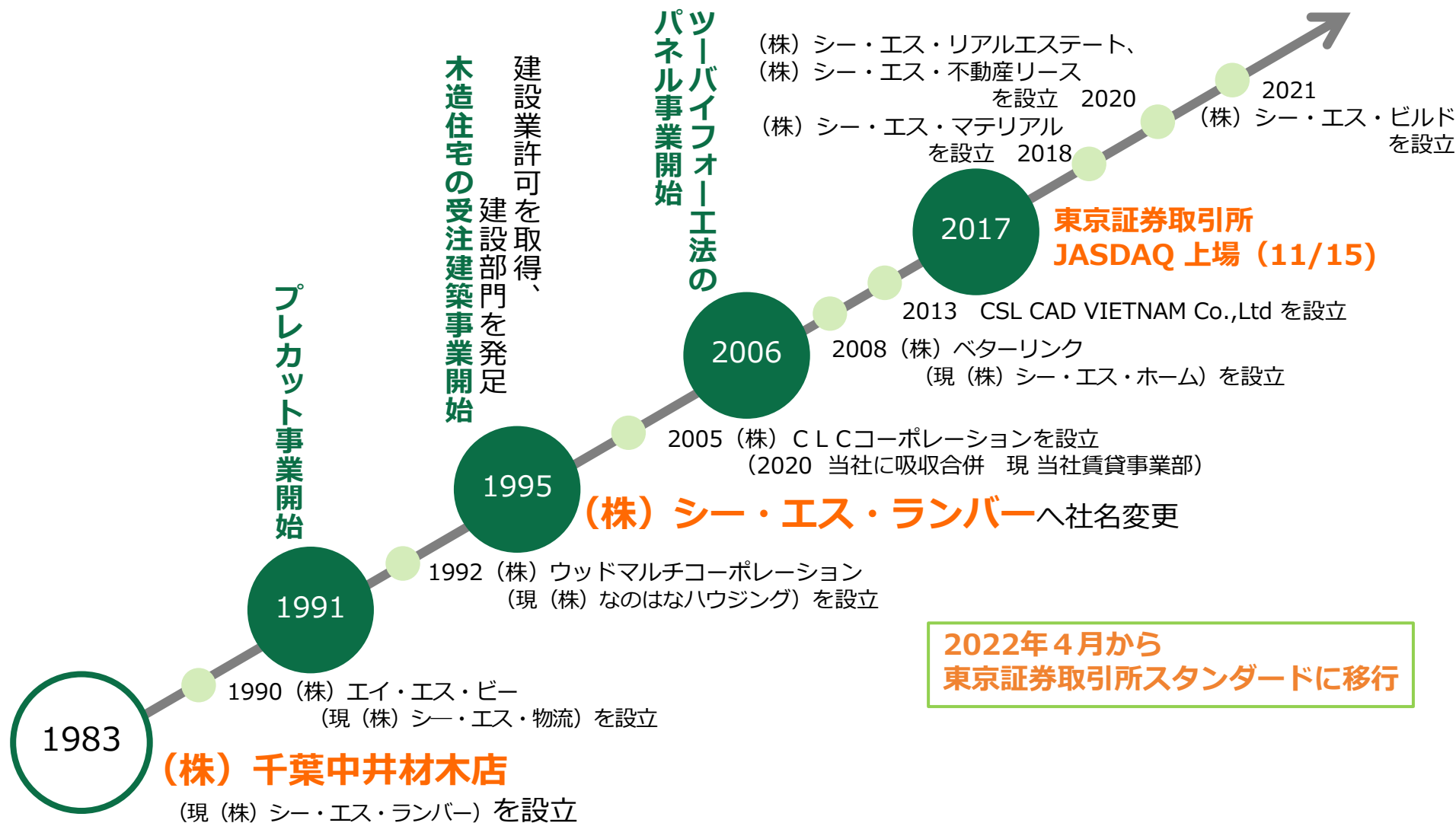
1. 弊社の概要および市場動向
2. 2023年5月期 第2四半期決算概要
3. 2023年5月期業績予想
4. トピックス
5. 参考資料

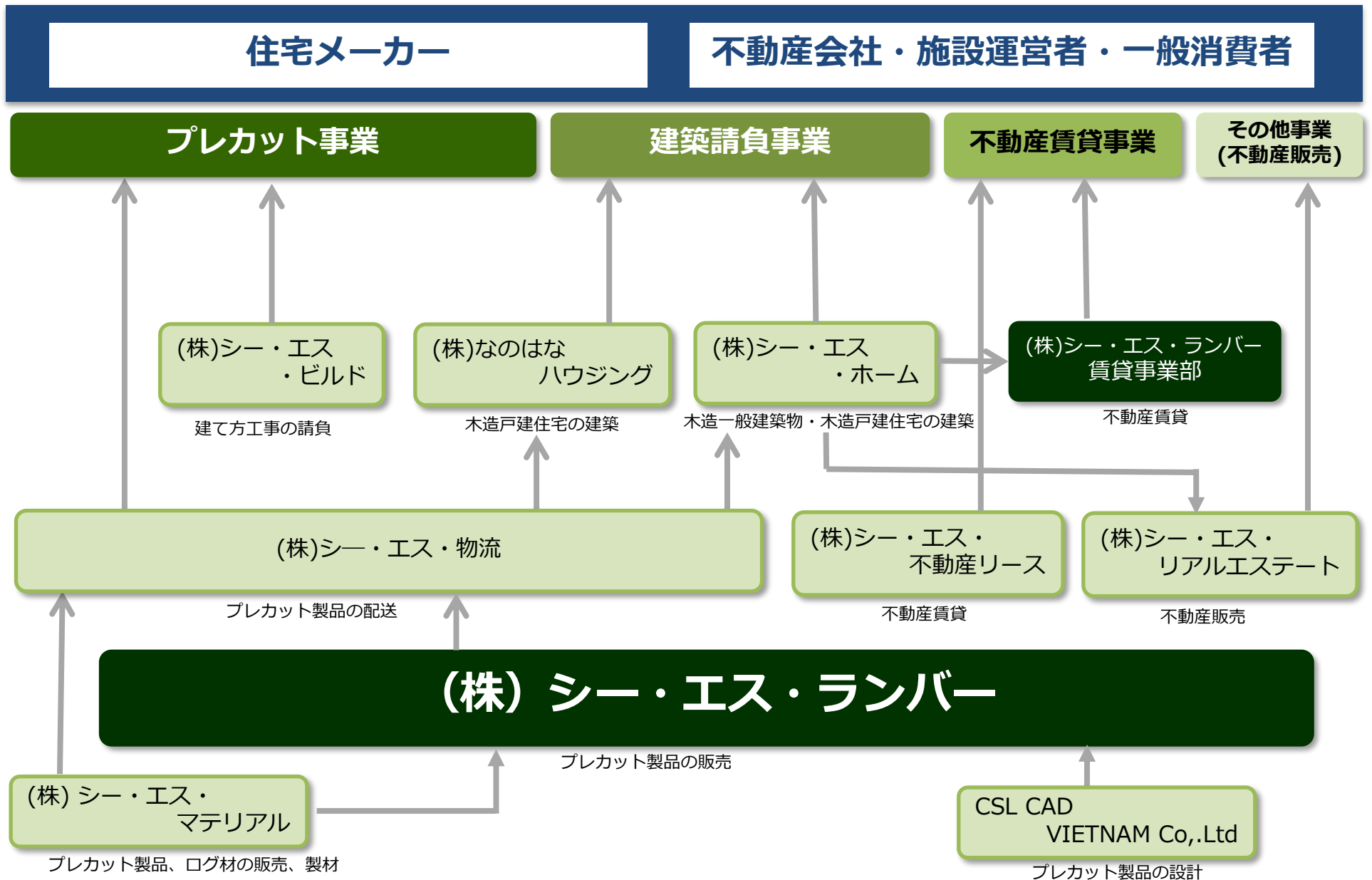
Customer Satisfaction through Lumber 木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

会社名	株式会社シー・エス・ランバー	 <p>幕張本郷 本社</p>
本社所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷一丁目16番3号	
代表者	代表取締役社長 中井 千代助	
設立	1983年4月1日	
資本金	532百万円	
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレカット事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 在来軸組工法における設計、木材のプレカット加工及び販売 ● ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売 2. 建築請負事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 木造住宅・大型木造施設の建築請負 3. 不動産賃貸事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産賃貸・管理 4. その他事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 不動産の販売 	
従業員数	連結 315名 他に臨時従業員 101名	

(2022年11月末現在)

木材を熟知する材木店から、木造建築のトータルサービス企業へ





首都圏に特化した営業エリア



人口が集中する首都圏（1都4県）に絞った営業エリアに展開

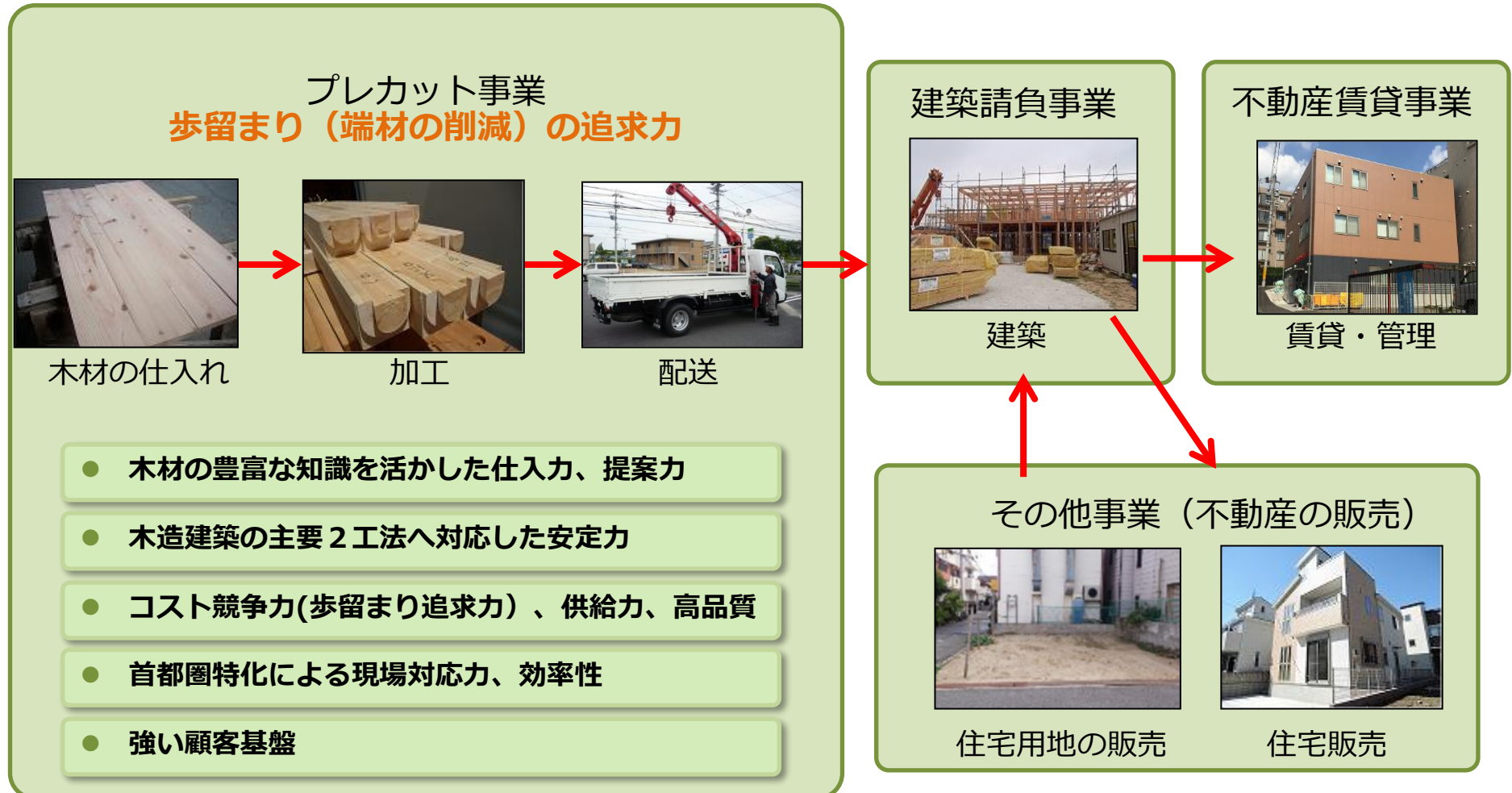


営業エリアを絞ることにより

- ・ お客様のニーズへの迅速な対応
(企画・設計・アフターサービス)
 - ・ 営業効率
 - ・ 配送効率
- 生産性向上による
コスト競争力

付加価値を創造する木造建築のトータルサービス

- 材木店経営で培った木材（業界）に関する豊富な知識を活かし、木材の仕入れから加工、建築、賃貸・販売までグループ内で行うことで、付加価値を創造



ピッキングシステムと新式プレカット加工ラインの導入により、**高い歩留まり・生産性を実現**

ピッキングシステム (邸別ピッキング用自動倉庫)

更なる「歩留まり追求」を目的に導入

⇒ **歩留まりが約10%向上**

- ・コンピュータ制御による在庫管理技術の向上に伴い、必要な木材のより適切な仕入れが可能となり、**材料費を削減**
- ・材料の木材の入庫、出庫の自動化により、**生産性も向上**



プレカット加工ライン



- ・加工能力向上に加え、従来難しかった複雑な加工も可能になり機械化率が上昇し、**生産性も向上**
- ・製品の**品質安定化**にも貢献

全部位 (壁・床・屋根) のパネルを加工し、現場に配送

- ・ 建築現場における工数が大幅に削減される他、高度技術者も不要となり、**付加価値の高い製品**を提供



壁パネル



床パネル



屋根パネル

大量かつ安定供給が可能な東金工場

- ・ **広大な敷地** (68,434㎡) の東金工場に設備を集約し、パネルの**大量生産・保管、安定供給体制**を確保
- ・ 東金インターから約10分の好立地で、**効率化された自社配送**

機械化が進んだ生産ライン

- ・ 在来軸組工法で培ったノウハウを活かし、**機械化を推進**
複雑な形状の加工においても機械化を進め、高品質、高い生産性を確保



マルチカットライン
(木材のカット)



マルチカット製品



パネルシージングライン
(自動釘打ちマシン)

ベトナム子会社でのCAD設計

標準的な建物の設計を行い、**コスト低減**

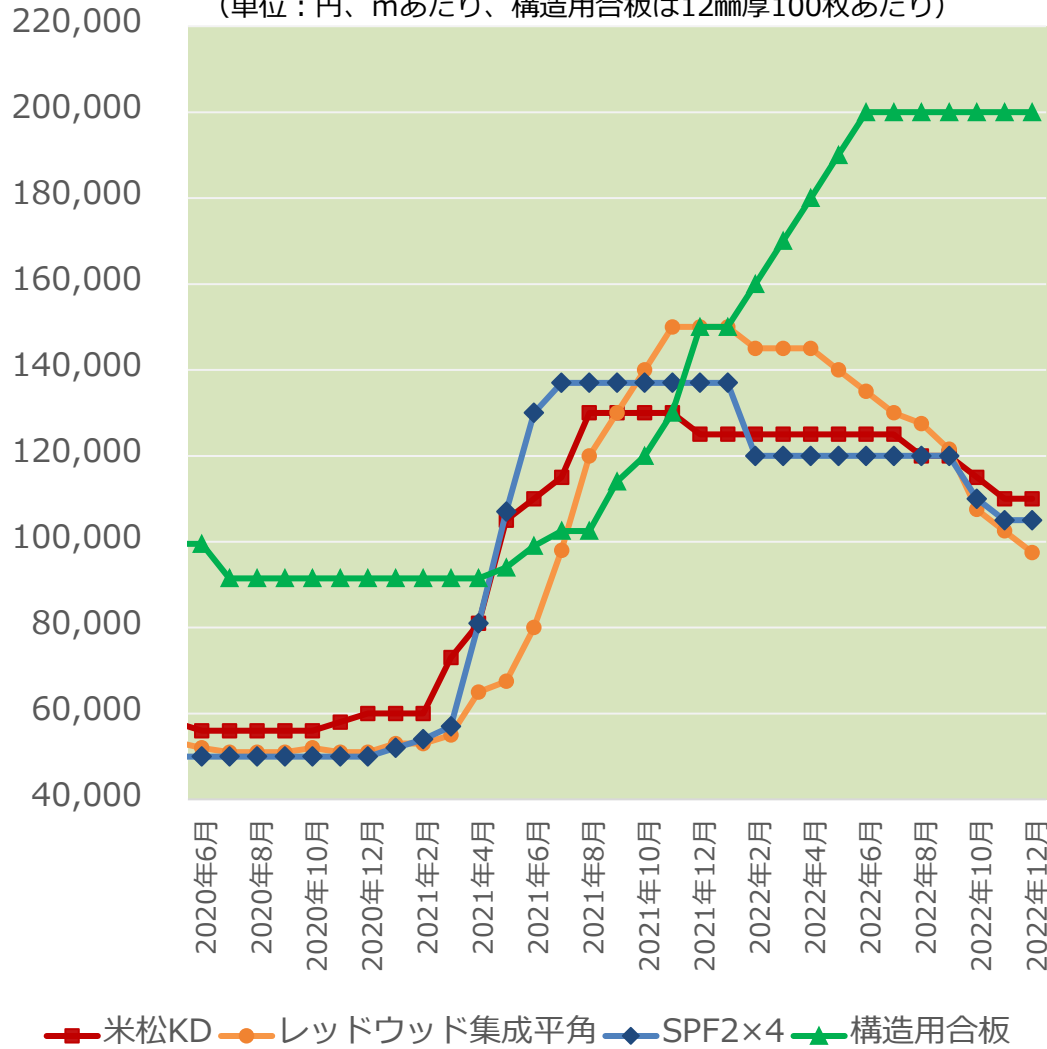
- クロス (直切り) カットライン 2ライン
- マルチカットライン 2ライン
- パネルシージングライン 2ライン

国内の木材価格動向と弊社プレカットの販売価格（1棟あたり平均）



国内の木材価格動向

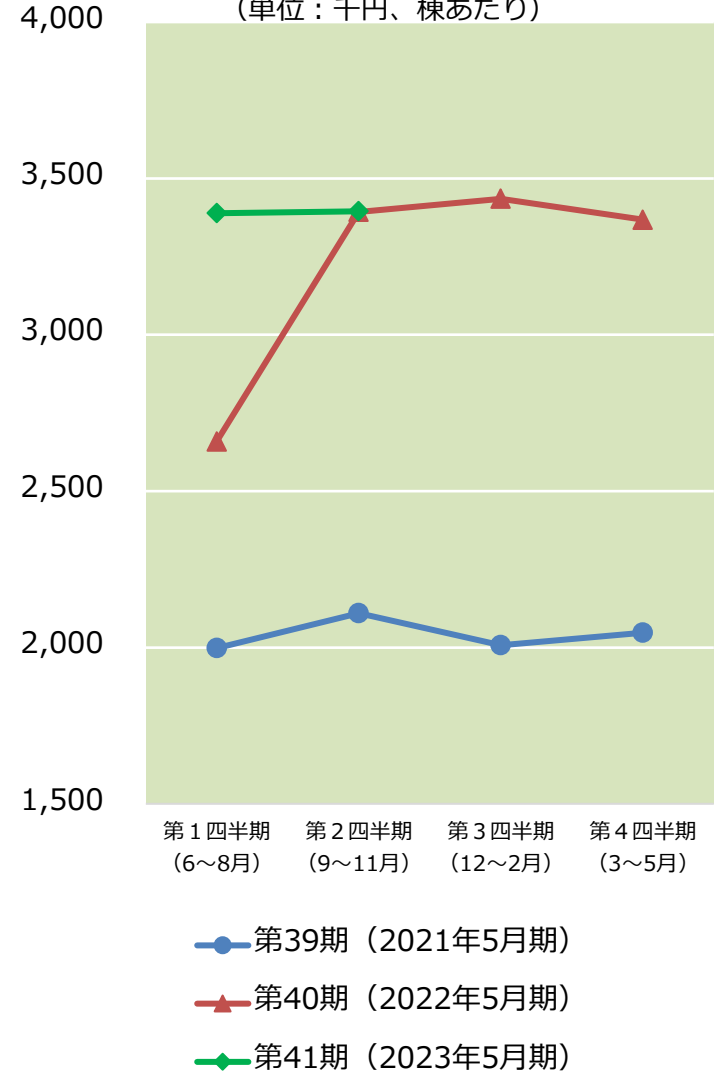
(単位：円、㎡あたり、構造用合板は12mm厚100枚あたり)



出所：日刊木材新聞

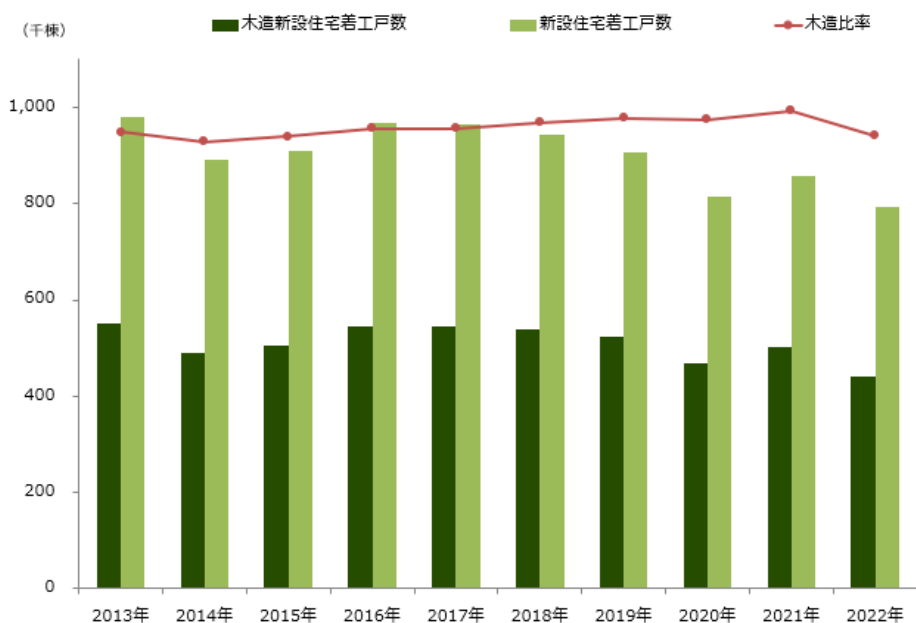
弊社プレカットの販売価格（1棟あたり平均）

(単位：千円、棟あたり)

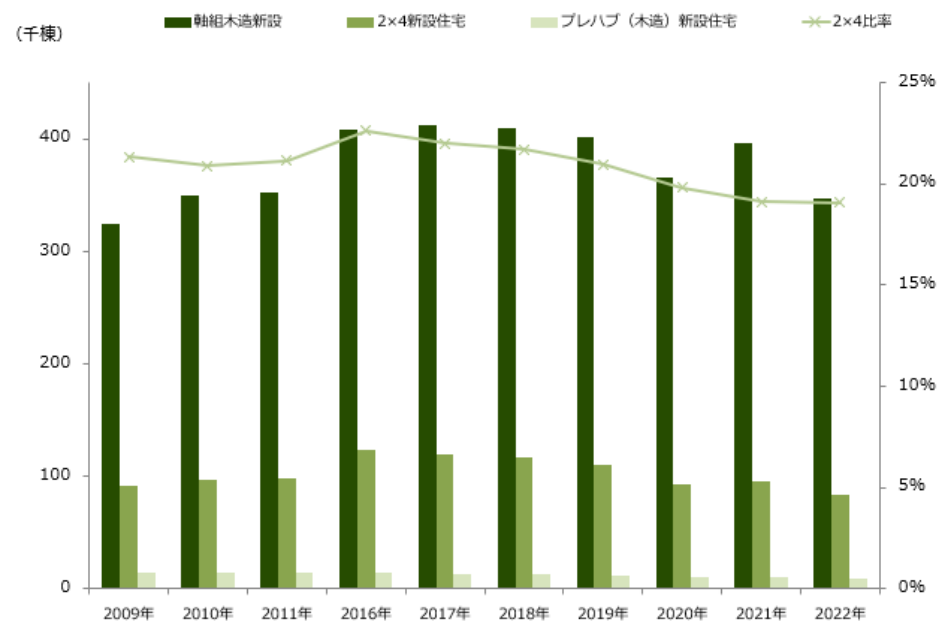


出所：弊社決算短信

新設住宅着工戸数に占める木造新設住宅着工戸数の割合



工法別木造新設住宅着工戸数とツーバイフォー比率



出所：国土交通省「建築着工統計調査住宅着工統計」より当社作成（2022年は、1月～11月の実績）

気候変動への対策－脱炭素社会の実現に向け、木材資源の有効活用を推進

わたしたち、シー・エス・ランバーグループは、社是である

Customer Satisfaction through Lumber

木材を通じて顧客に満足戴ける取引に徹する

の下、人権の尊重や地球環境への配慮、その他のサステナビリティを巡る課題へ対応することが重要な経営課題であると位置づけ、これらの課題に積極的に対応することにより、企業価値の向上を図り、持続的に成長してまいります。

特に、**2050年カーボンニュートラル**－脱炭素社会の実現に向けて、炭素を貯蔵する働きのある木材資源を有効活用するための様々な取り組みを推進し、地球環境の維持、特に地球温暖化防止に対して、積極的にその役割を果たしてまいります。

サステナビリティに関する活動の詳細は、

ESG報告書

環境に優しい持続可能な企業経営をめざして（2022年版）

をご参照ください

(URL: <https://www.c-s-lumber.co.jp/ir/esg.html>)



1. 弊社の概要および市場動向
2. **2023年5月期 第2四半期決算概要**
3. 2023年5月期業績予想
4. トピックス
5. 参考資料

2023年5月期 第2四半期決算概要



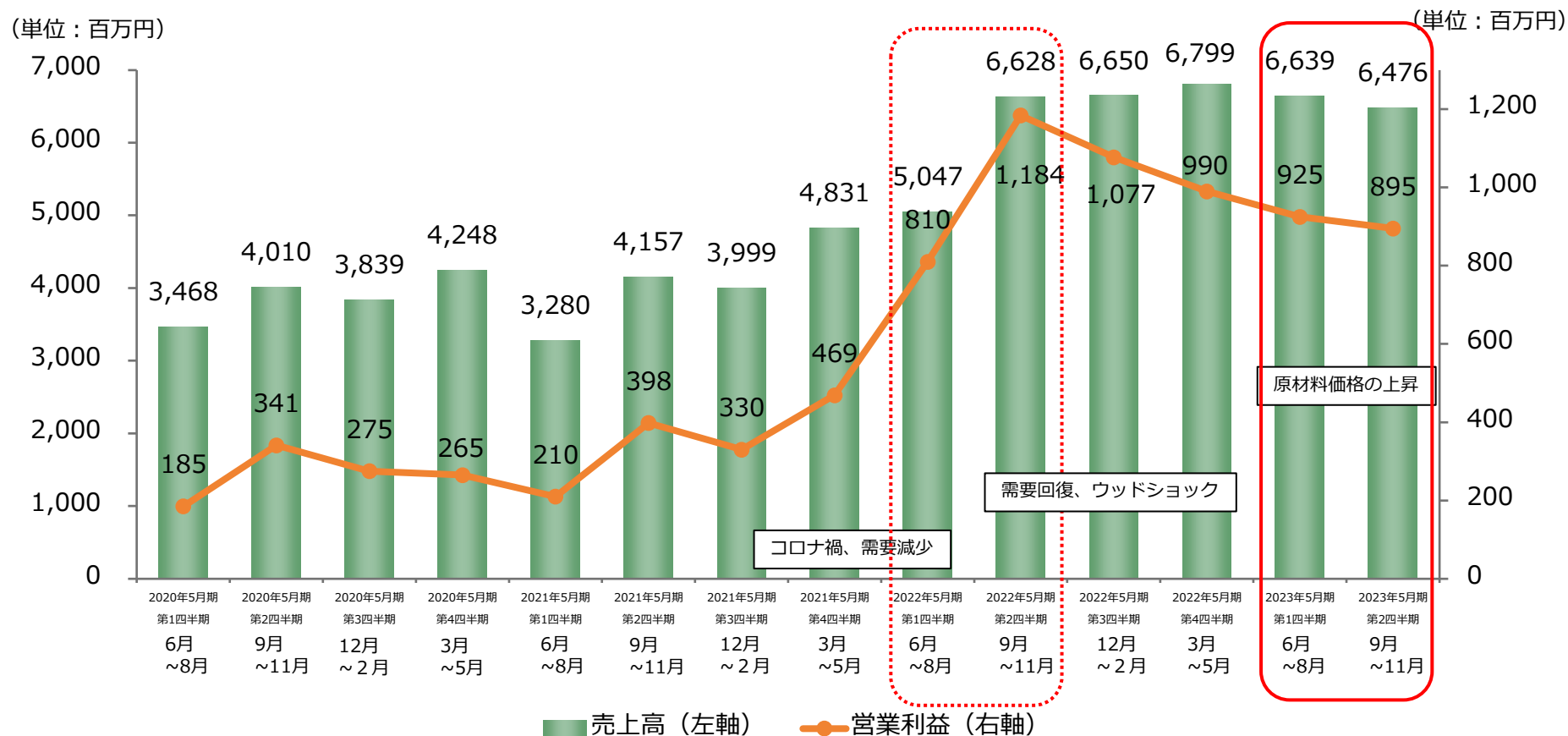
ウッドショックは徐々に解消の動きがあるものの、木材需要は堅調に推移し売上高増加円安に起因した原材料価格上昇や物流コスト上昇の影響により利益減少

単位：百万円	2022年5月期第2四半期		2023年5月期第2四半期				2023年5月期	
	実績		実績		前年同期比		予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減率
売上高	11,676	100.0%	13,116	100.0%	1,440	12.3%	26,000	3.5%
プレカット	9,800	83.9%	11,273	86.0%	1,473	15.0%		
建築請負	2,163	18.5%	1,803	13.8%	△359	△16.6%		
不動産賃貸	353	3.0%	375	2.9%	22	6.3%		
その他	178	1.5%	354	2.7%	175	98.3%		
粗利益	3,162	27.1%	3,126	23.8%	△36	△1.1%		
プレカット	2,694	23.1%	2,587	19.7%	△107	△4.0%		
建築請負	173	1.5%	184	1.4%	10	6.2%		
不動産賃貸	279	2.4%	280	2.1%	1	0.5%		
その他	18	0.2%	64	0.5%	46	252.3%		
販売費及び一般管理費	1,167	10.0%	1,305	10.0%	137	11.8%		
営業利益（セグメント利益）	1,995	17.1%	1,820	13.9%	△174	△8.7%	3,100	△23.7%
プレカット	1,650	14.1%	1,418	10.8%	△232	△14.1%		
建築請負	44	0.4%	65	0.5%	21	47.5%		
不動産賃貸	275	2.4%	256	2.0%	△19	△7.0%		
その他	0	0.0%	44	0.3%	43	6514.7%		
経常利益	1,970	16.9%	1,797	13.7%	△173	△8.8%	3,000	△25.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,232	10.6%	1,276	9.7%	43	3.6%	2,000	△27.7%

2023年5月期 第2四半期業績推移



ウッドショック解消に伴う需給バランスの正常化、円安に起因する原材料価格等の高騰により、営業利益減少



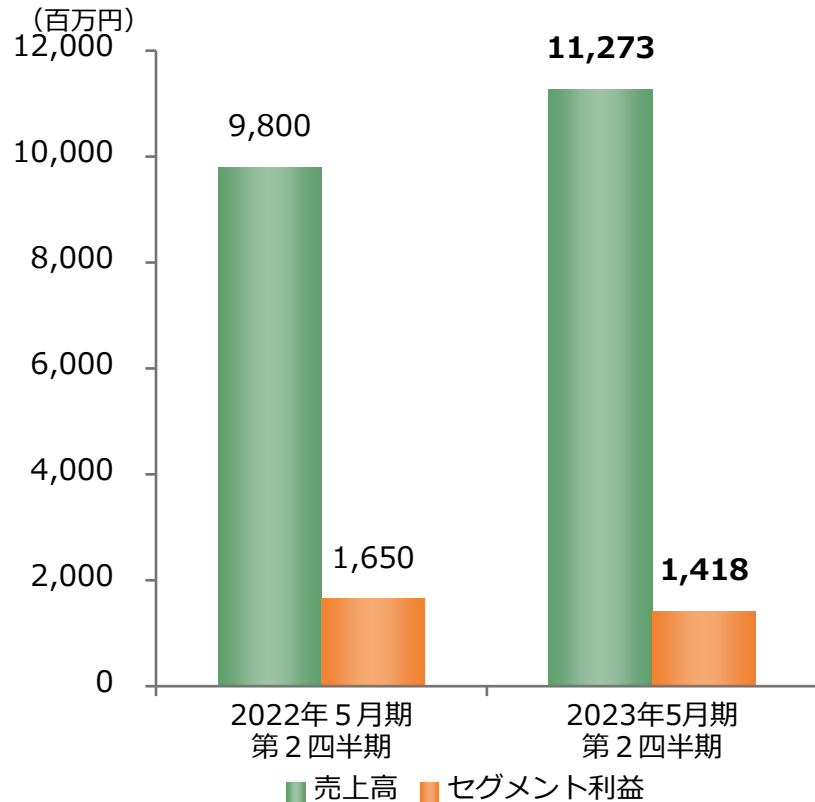
- ・ウッドショックの終息による状況の正常化
- ・原材料価格の上昇や物流コストの上昇により営業利益の減少

2023年5月期 第2四半期プレカット事業（前年同期比）



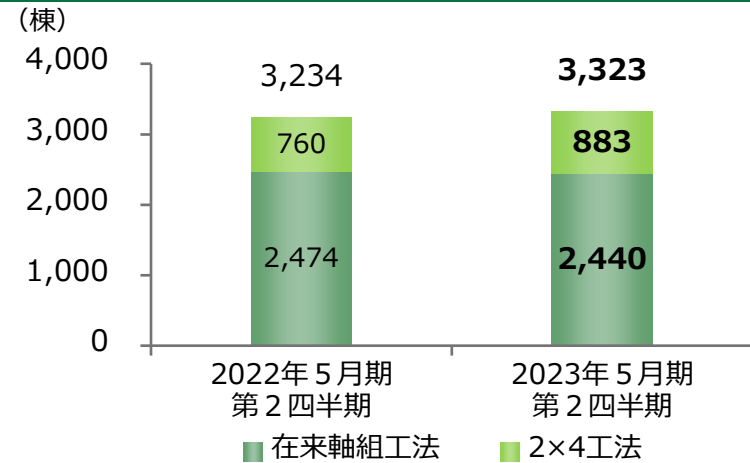
住宅着工戸数の減少による厳しい受注競争が激化

売上高・セグメント利益

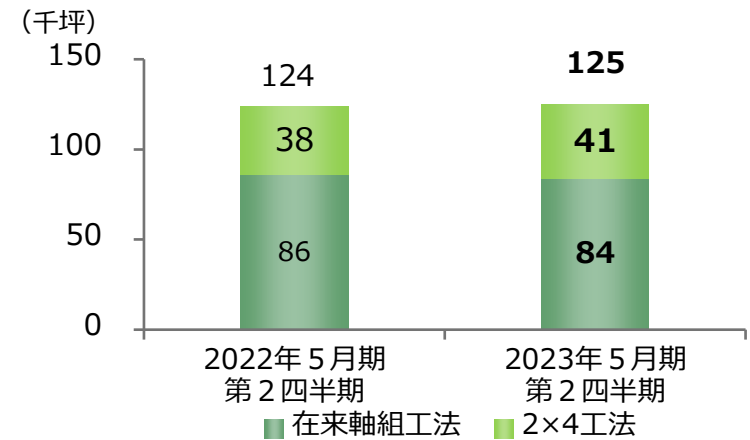


※継続的な訪問営業を展開、製材や配送の一部内製化の強みを活かした歩留まりの追求、配送効率の向上など

出荷棟数



出荷坪数

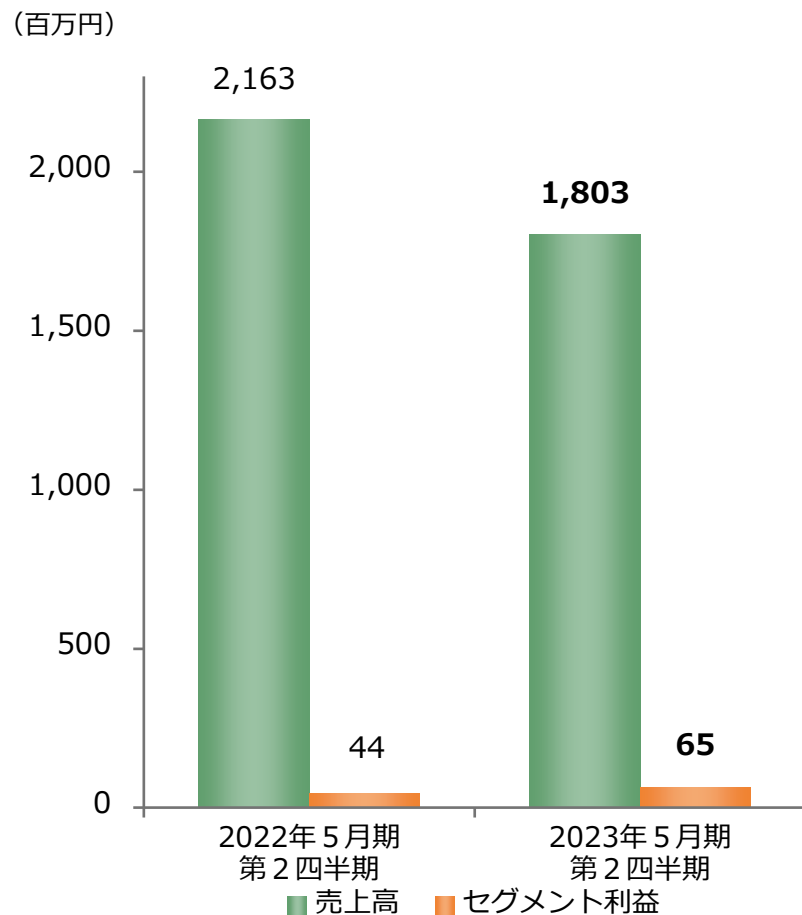


2023年5月期 第2四半期建築請負事業（前年同期比）

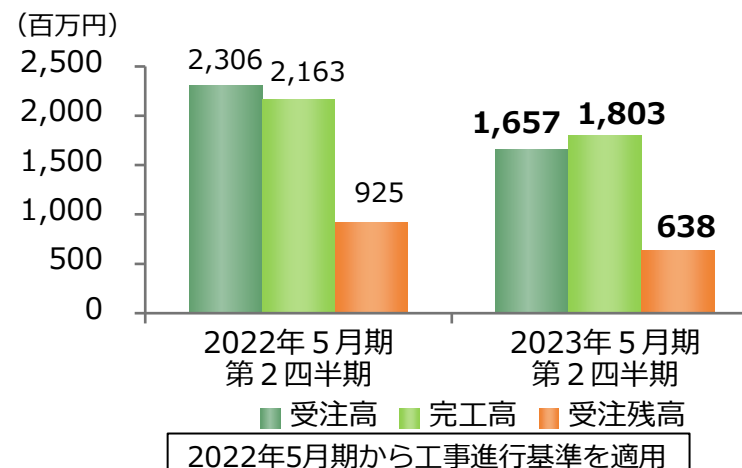


営業強化や新規開拓、生産性向上に努め、セグメント利益改善

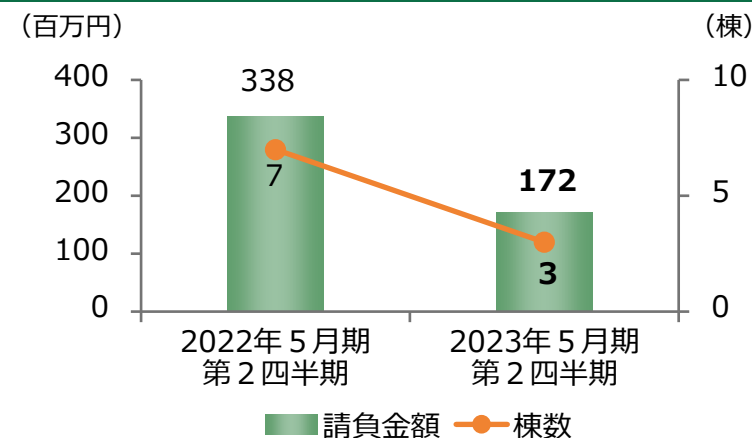
売上高・セグメント利益



受注・完工・受注残



大型(50坪以上)木造住宅・施設



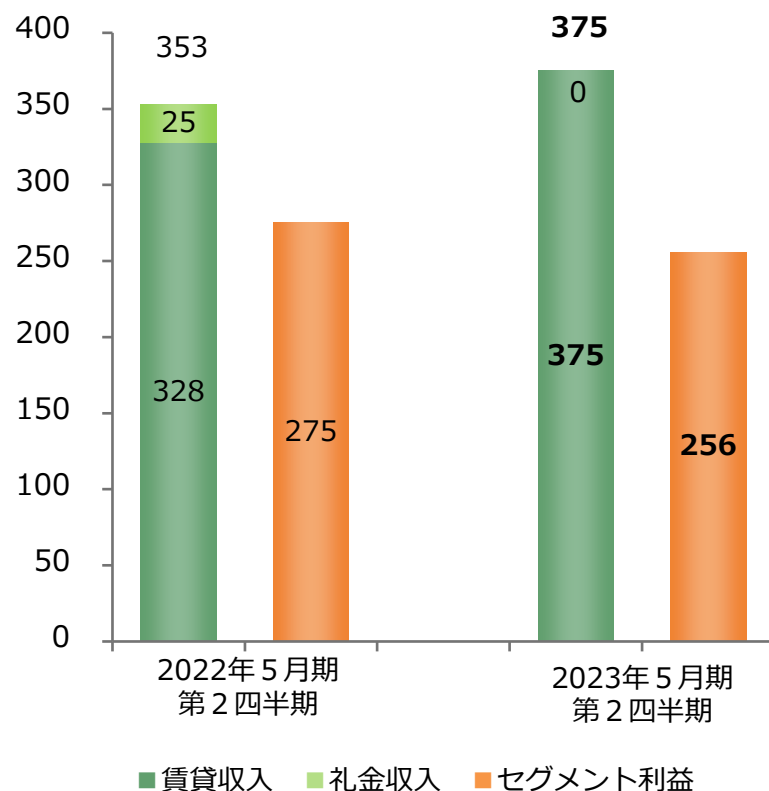
2023年5月期 第2四半期不動産賃貸事業（前年同期比）



福祉施設や共同住宅といった保育所以外の賃貸物件を新たに取得し、安定した賃料収入を維持

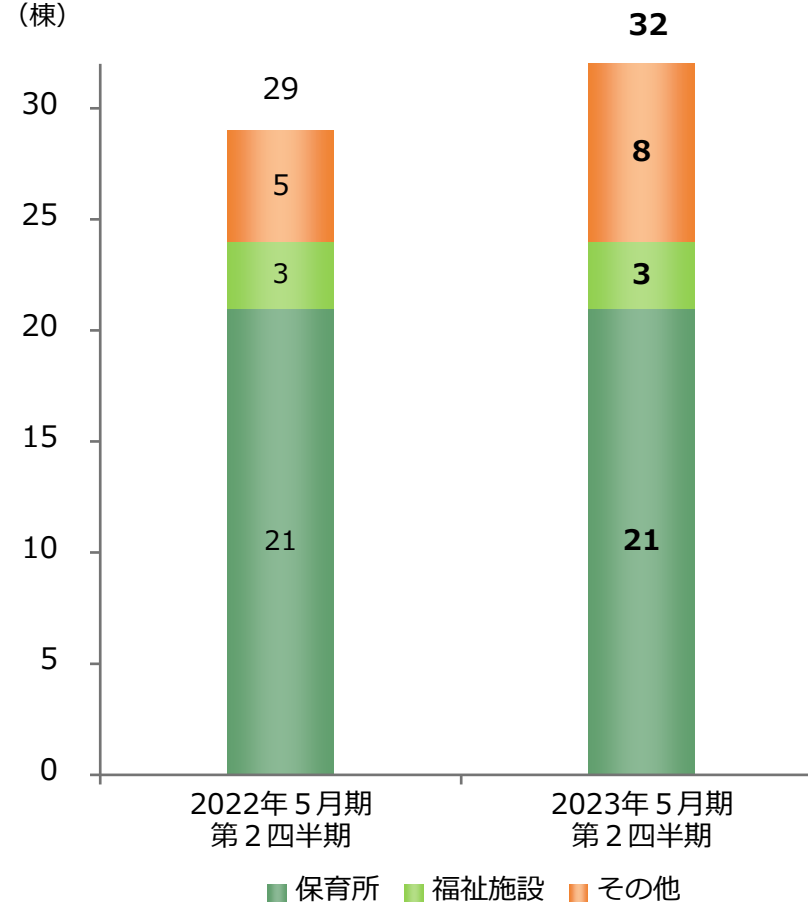
売上高・セグメント利益

(百万円)



賃貸及び管理棟数

(棟)



その他物件は、福祉施設1棟・共同住宅2棟を追加

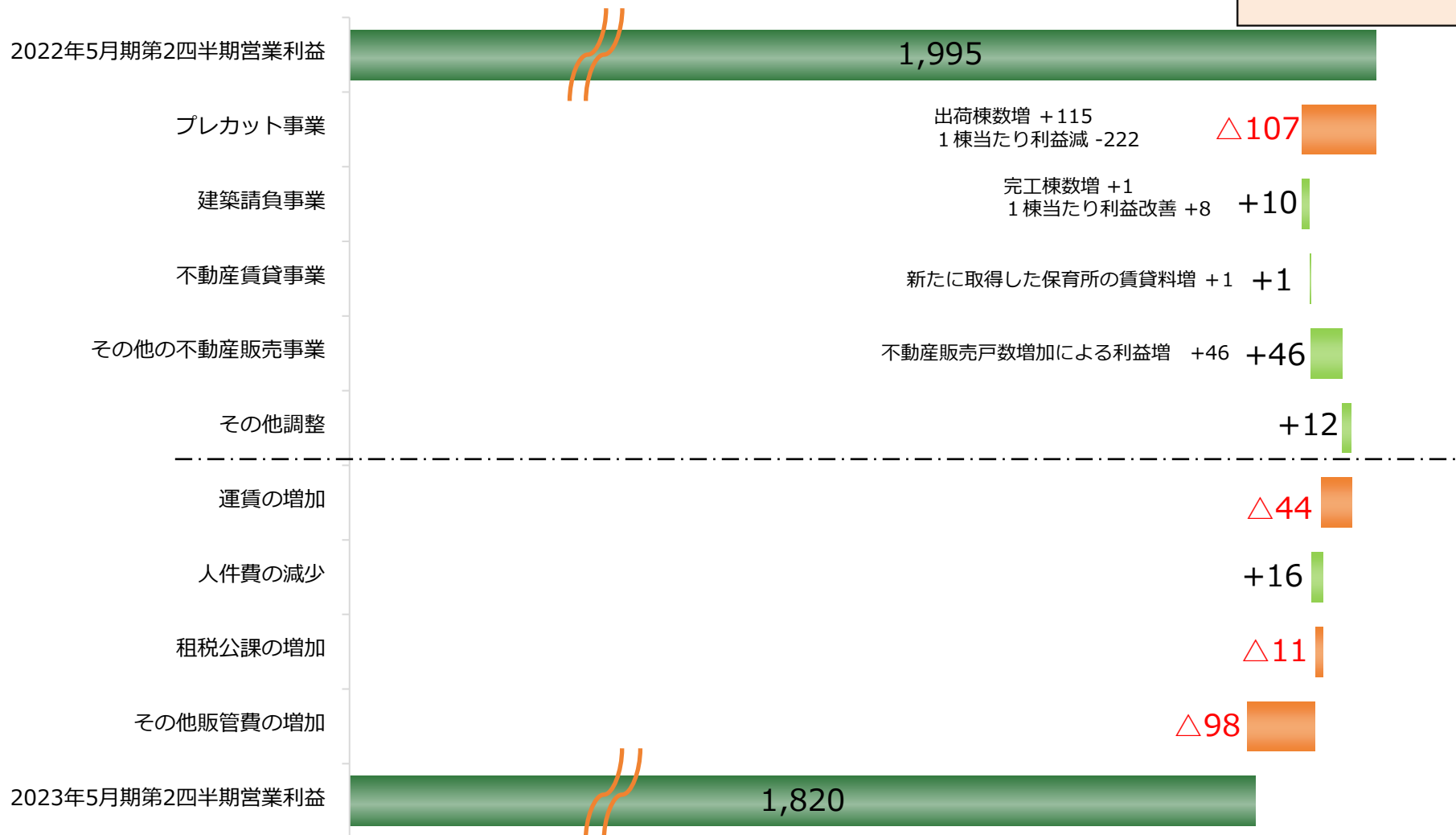
2023年5月期 第2四半期営業利益の増減（前年同期比）



プレカット事業の1棟当たりの採算性低下、その他販管費の増加により営業利益減少

(単位：百万円)

■ 利益増加 ■ 利益減少



・ その他販管費の増加は、運賃の増加、将来の経営基盤強化費用、与信管理保険料、諸会費他

2023年5月期 第2四半期末貸借対照表



単位：百万円	2022年5月期		2023年5月期第2四半期			
	実績		実績		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	11,156	53.0%	10,882	51.3%	△274	△2.5%
現金及び預金	4,921	23.4%	4,510	21.3%	△410	△8.3%
受取手形及び売掛金	4,210	20.0%	4,632	21.9%	422	10.0%
商品及び製品	125	0.6%	195	0.9%	70	56.3%
販売用不動産	797	3.8%	608	2.9%	△188	△23.6%
仕掛品	397	1.9%	383	1.8%	△13	△3.3%
原材料及び貯蔵品	619	2.9%	492	2.3%	△126	△20.5%
その他	824	0.4%	57	0.3%	△27	△32.6%
固定資産	9,875	47.0%	10,314	48.7%	438	4.4%
有形固定資産	9,277	44.1%	9,702	45.8%	425	4.6%
無形固定資産	110	0.5%	135	0.6%	24	22.5%
投資その他の資産	486	2.3%	475	2.2%	△11	△2.3%
資産合計	21,031	100.0%	21,196	100.0%	164	0.8%
流動負債	8,250	39.2%	7,496	35.4%	△753	△9.1%
支払手形及び買掛金	4,335	20.6%	4,234	20.0%	△101	△2.3%
短期借入金	600	2.9%	470	2.2%	△130	△21.8%
1年以内償還社債	100	0.5%	200	0.9%	100	100.0%
1年以内返済予定の長期借入金	862	4.1%	955	4.5%	93	10.9%
リース債務	173	0.8%	161	0.8%	△11	△6.9%
未払法人税等	1,016	4.8%	540	2.6%	△475	△46.8%
その他	1,161	5.5%	934	4.4%	△227	△19.6%
固定負債	5,895	28.0%	5,667	26.7%	△228	△3.9%
社債	250	1.2%	600	2.8%	350	140.0%
長期借入金	4,949	23.5%	4,418	20.8%	△530	△10.7%
リース債務	266	1.3%	231	1.1%	△35	△13.2%
その他	430	2.0%	417	2.0%	△12	△3.0%
負債合計	14,146	67.3%	13,164	62.1%	△982	△6.9%
株主資本合計	6,784	32.3%	7,913	37.3%	1,129	16.6%
純資産合計	6,885	32.7%	8,031	37.9%	1,146	16.6%
負債純資産合計	21,031	100.0%	21,196	100.0%	164	0.8%

現金及び預金が減少し、未払法人税等についても減少

2023年5月期 第2四半期キャッシュフロー



単位：百万円	2022年5月期第2四半期実績	2023年5月期第2四半期実績
営業活動によるキャッシュフロー	911	563
投資活動によるキャッシュフロー	△577	△ 594
財務活動によるキャッシュフロー	330	△ 383
現金及び現金同等物の増減額	664	△ 411
現金及び現金同等物の期首残高	2,373	4,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,037	4,474

単位：百万円	2022年5月期第2四半期実績	2023年5月期第2四半期実績
税金等調整前四半期純利益	1,970	1,797
減価償却費	209	194
運転資本の増減額	△1,062	△ 265
未払消費税等の増減額	74	△ 208
法人税等の支払額	△337	△ 943

1. 弊社の概要および市場動向
2. 2023年5月期 第2四半期決算概要
3. 2023年5月期業績予想
4. トピックス
5. 参考資料

2023年5月期 業績予想



ウッドショック解消に伴う需給環境正常化によりプレカット販売価格に下げ圧力あり、減益見込み

単位：百万円	2022年5月期 実績		2023年5月期 予想		
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
売上高	25,126	100.0%	26,000	100.0%	3.5%
プレカット	21,406	85.2%	20,418	78.5%	△4.6%
建築請負	4,066	16.2%	4,230	16.3%	4.0%
不動産賃貸	718	2.9%	805	3.1%	12.2%
その他	480	1.9%	913	3.5%	90.1%
粗利益	6,457	25.7%	5,673	21.8%	△12.1%
プレカット	5,454	21.7%	4,701	18.1%	△13.8%
建築請負	394	1.6%	410	1.6%	3.9%
不動産賃貸	561	2.2%	594	2.3%	5.8%
その他	52	0.2%	57	0.2%	9.1%
営業利益（セグメント利益）	4,062	16.2%	3,100	11.9%	△23.7%
プレカット	3,349	13.3%	2,444	9.4%	△27.0%
建築請負	97	0.4%	127	0.5%	30.2%
不動産賃貸	556	2.2%	543	2.1%	△2.2%
その他	13	0.1%	36	0.1%	176.4%
経常利益	4,029	16.0%	3,000	11.5%	△25.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,766	11.0%	2,000	7.7%	△27.7%

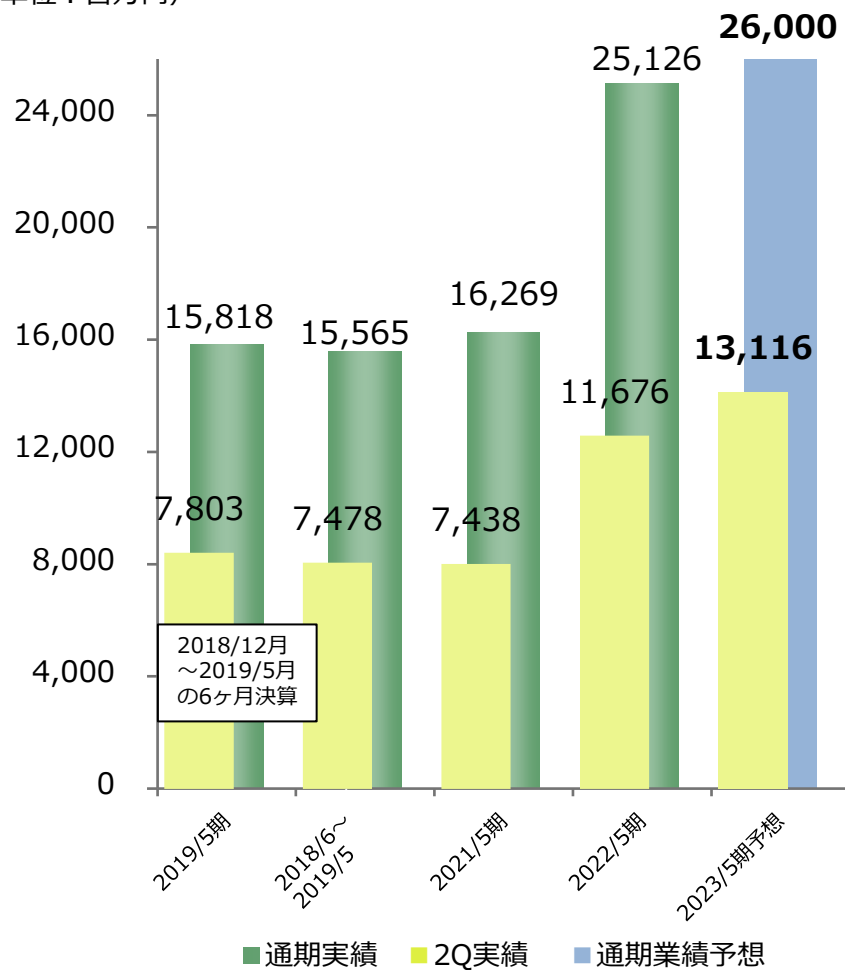
2023年5月期 業績予想



2023年5月期は、売上高は前期比3.5%の増加、営業利益は同23.7%の減少と予想

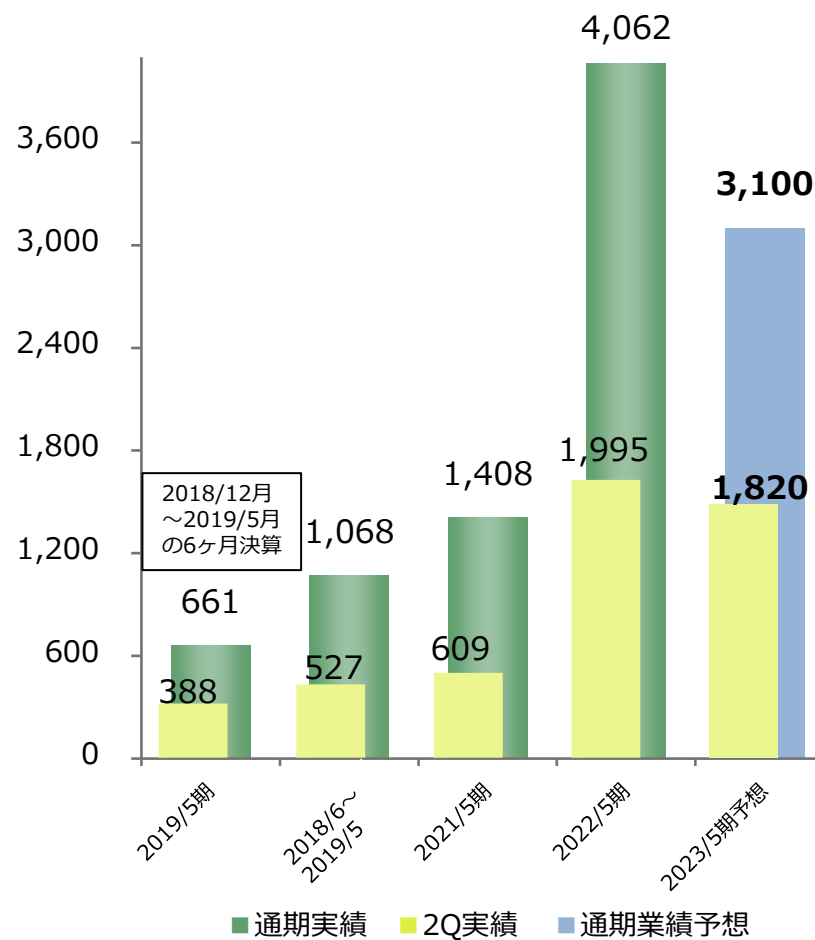
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



※2019年5月期は、特殊要因（消費税増税駆け込み需要効果）を除く値で読み替えを実施

2023年5月期の配当は80円を予想

配当政策の基本方針

将来の事業展開と経営体質強化
に必要な内部留保の強化

継続性・安定性

経営成績に応じた
配当の実施

< 内部留保強化の必要性 >

安定した経営基盤の確立、持続的成長、長期的な企業価値向上

(施策) ・財務基盤強化のための借入金の返済

・プレカット製品の安定供給を可能にするための将来の投資

配当金額

2021年5月期 1株当たり年間配当金 (実績) : 50円 (期末50円)

2022年5月期 1株当たり年間配当金 (実績) : 80円 (期末80円) (うち20円は創業40周年記念配当)

2023年5月期 1株当たり年間配当金 (予想) : 80円 (期末80円)

1. 弊社の概要および市場動向
2. 2023年5月期 第2四半期決算概要
3. 2023年5月期業績予想
4. トピックス
5. 参考資料

新たな事業や手法の積極的な取り入れ



工場の無人化・究極の歩留まり

顧客ニーズに合わせた新たな資材（新建材）やサービスの提供に注力



数値に基づく行動ができる人材育成やM&Aなどの対外活動への積極的な取り組み

市場動向に左右されない強い組織体制の確立



1. 弊社の概要および市場動向
2. 2023年5月期 第2四半期決算概要
3. 2023年5月期業績予想
4. トピックス
5. 参考資料

事業概要 (1) プレカット事業①



在来軸組工法における設計 (CAD)、木材のプレカット加工及び販売
ツーバイフォー工法における設計、木材のプレカット加工、パネルの製造及び販売

「木造建築の主要2工法に対応」した加工・販売

在来軸組工法 (山武工場)

日本で最も主流の工法
基礎の上に木の土台を据えて、柱と柱を梁で水平につぎ、
対角線を筋交いで補触する

ISO9001 : 2015認定
登録証番号 : JQA-QM8720
登録活動範囲 :
木造住宅用プレカット材の
設計、製造



(財)日本住宅・木材技術センター認定

優良木質建材等認証
CSL高耐久性機械ブ
レカット部材 (2種-
ACQ)



認定番号 AQ-099-A1-1



ツーバイフォー工法 (東金工場)

枠状に組まれたツーバイ材に構造用合板を打ち付けた壁や
床 (面材) で支える「枠組み」構造
隙間が大変少なく、気密性・防音性に優れている

JAS認定工場 (全国木材検査・研究協会)

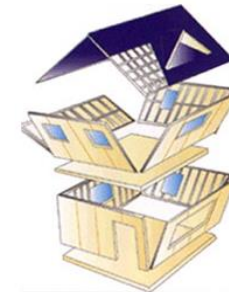
認定番号 : JLIRA-A-016

認定品目 :

枠組壁工法構造用製材

認定区分 :

人工乾燥枠組壁工法構造用製材



北欧などからの製品輸入が中心のログハウスプレカット事業を展開



カントリーテイストのある木造家屋が都市部住宅街にも建ち始めている傾向を捉え、ログハウスメーカーとタイアップしてプレカットを開始
在来軸組工法、ツーバイフォー工法の技術も必要とされており、親和性大

プレカット事業を軸に、建築請負事業も展開している

ATAハイブリッドトラス構法のプレカット事業を展開

「無柱大空間を可能にした非住宅・中大規模木造トラス構法」を生んだ株式会社ATA（アタ社）様の提携プレカット工場となる

商業・工場・スポーツ施設など建物用途は多岐多様、鉄骨から木造への脱炭素の動き



木造戸建住宅・木造一般建築物の建築（大型木造施設等）の建築請負

当社のプレカット製品を仕入れて、
木造住宅・保育所等の大型木造施設を合わせ
年間約200棟以上施工



千葉県東金市保育園

- ・構造：木造平屋建
- ・延床：484.15㎡
- ・居室：保育室、事務室、休憩室、厨房、病児保育室、病後児保育室、相談室 等



なのはなモデルハウスA棟

長期安定契約を基本方針とした不動産賃貸及び管理

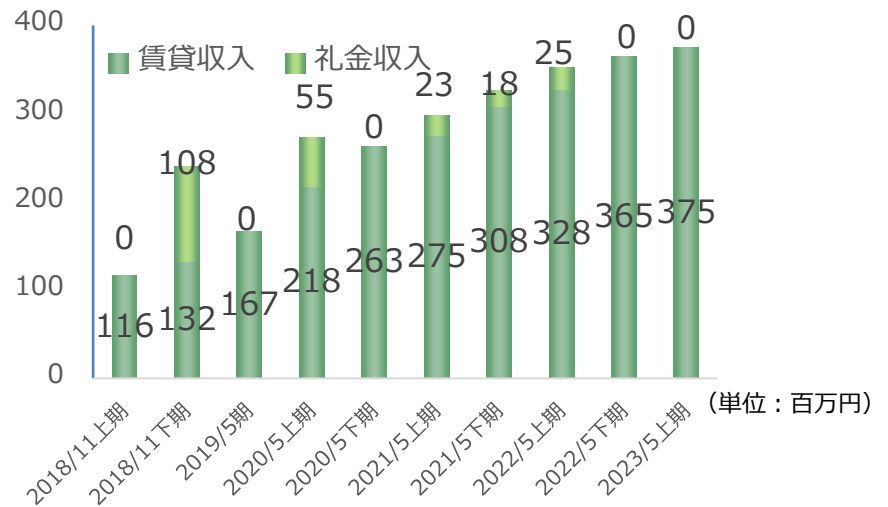
保育所 (中野区)



保育所 (文京区)



賃貸収入・礼金収入の推移



保育所 (台東区)



株式会社シー・エス・ランバー

【お問い合わせ先】

株式会社シー・エス・ランバー

取締役 経理部長 加賀美 淳

TEL 043-213-8810

FAX 043-213-8819

URL <https://www.c-s-lumber.co.jp>

<ご案内>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

なお、いかなる目的であれ、本資料を当社の許可なく複写複製等を行わないようお願い申し上げます。